

No.77 令和5年新年号

# 道南

題字は二上達也9段揮毫

北海道道南会会報  
No.77 令和5年新年号

発行 2023年1月1日  
発行所 北海道道南会事務局  
連絡所 茨城県取手市西1-6-C-907  
TEL&FAX 0297-74-7576  
ホームページ  
<http://hokkaido-dounankai.com/>

## 笑顔で再会できる日を願って

北海道道南会会長 葉袋 泰  
七重小出身



新年明けまして

おめでとうございます

皆様お変わりなく元気が清々しく、新しい兎年の新春をお迎えになられたことと、心からお慶び申し上げます。

令和4年も、新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、道南会においては2月5日(土)、開催の新年総会・懇親会、夏季懇親会の中止など恒例の行事をすべて中止と致しました。

また、夏頃から感染者数が暫時減の傾向に向かいつつあることから、政府は外国人の入国規制条件を緩和し、外国人観光客の受け入れに力を傾注したことにより、全国の観光地は外国人観光客で賑

い、経済の活性化には大きな力を与えました。国内でも規制緩和により「全国旅行支援」、「県民支援」などの制度を利用しての旅行者が増大し、観光業界や飲食店業界も各店独自の感染対策を施して、久方ぶりに活況を取り戻しつつあり、まだまだの感はありますが街中活気が出てきて喜んでおります。ウイルス感染も「第8波」に入り、「5回目ワクチン接種」も進んでいます。今年冬は「インフルエンザ」との同時流行が懸念されており、各自、不要な外出を避けてより一層の感染対策に心掛けて頂きたいと思っております。

8月4日開催の常任幹事会では、最重要課題の新年総会・懇親会の開催について協議しました。現在の首都圏の感染状況は下降気味の状況にあり、ホテルの宴会方法も「新たな生活様式」のガイドラインに沿っての、三密を避ける

ための感染拡大防止に向けた取り組みを実施しており、斯かる状況から、他のふるさと会の開催予定状況、北海道ふるさと会連合会の秋の恒例の産直フェア開催を踏まえて、令和5年の開催については今後の状況を見ながら判断することと致し、令和5年2月4日(土)の会場を予約しました。10月、11月に入り、急激に感染者数が激増し、北海道では毎日1万人超え、東京では2万人超え、全国でもなりました。顧問・相談役ともご相談し、11月15日のメールによる常任幹事会に諮り、中止することと致しました。

また毎年、11月上旬に開催しております「顧問・相談役会」は、今回は、令和5年新年総会・懇親会開催等の重要事項の協議の場と考えておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を避けるため、止む無く中止とさせていただきます。

北海道ふるさと会連合会は、令和4年1月開催予定の「新年交礼会」を8月20日(土)「総会・交流会」として開催。東京北斗会は、総会・懇親会



五稜の星のイルミネーション

を10月15日(土)開催されましたが、他のふるさと会と令和4年の行事はほとんどが中止となりました。

北海道ふるさと会連合会では、恒例の「新年交礼会」を、令和5年1月21日(土)に開催の予定をされております。

令和5年もこの新型コロナウイルスの感染拡大は、まだまだ続くと思われませんが、皆様にはもう暫らくの間、マスクの着用、消毒、検温を励行し、「三密」を避け、不要不急の往来を自粛して頂き、コロナ禍が早く収束して、今年9月2日(土)に開催予定の「夏季懇親会」では、笑顔で再会できますことを心待ちにしております。

# 函館市便り

函館市長 工藤 壽樹



令和5年の新春を皆様ともにお迎えてきますことを心よりお慶び申し上げます。

北海道道南会の皆様におかれましては、昭和35年の創立以来、60年を超える長きにわたり、「ふるさと道南」を心の絆として会員相互の交流と親睦を深め、固い結束のもと、幅広い分野において活発な活動と郷土発展への貢献を続けられ、今日のご隆盛を築かれておりますことは、葉袋会長をはじめ歴代会長、役員、会員の皆様の一方ならぬご努力の賜と存じ、心から敬意を表しますとともに、日頃から函館市の発展に特段のご支援、ご尽力を賜り、厚くお礼申し

上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症対策に努める社会生活も3年が経過しようとしておりますが、昨年8月には葉袋会長にも御出席いただいた、函館市市制施行100周年記念式典を挙行し、多くの皆様

に祝福いただきました。また、9月には3年振りとなる函館最大級の食の祭典「はこだてグルメサーカス」を開催し、例年より規模縮小となりましたが、市民や観光客を合わせた13万人の皆様を運んでいただき、店舗によっては長い行列を作る様子も見られるなど、多くの方にイベントを楽しんでいただくことができました。

した物価高騰等への対策として、当市では、国の制度の対象とならない子育て世帯等への独自の給付金や、市内全事業者への支援金の給付、プレミアム付商品券の発行など各種支援策を実施してきましたところであります。

当市の観光については、昨年の12月に公表した来函観光入込客数推計では令和4年度上期(4月～9月)の観光入込客数が前年同期比30.5%増の約261万人となっており、徐々にではありますが人々の往来が戻り、賑わいが広がりつつあります。

現在、全国旅行支援の展開中ではありますが、函館市では宿泊料金助成「はこだて割」(第3弾)を1月末まで実施し、全国からのさらなる来函促進を図っているところであります。詳しくは、公式WEBサイト (<https://www.hakodate-wari.com>)にてご確認ください。

URLやQRコードから直接アクセスいただくか、「はこだて割」

**はこだて割**

対象期間:2022年11月1日(火)~2023年1月31日(火)  
(12月1日(日)チャックアウト時まで)



はこだて割 QRコード

にてインターネット検索のうえ、ご覧いただけます。実施期間は残り少なくなりましたが、ご家族をはじめご友人や知り合いの方へもご周知をいただけますと幸いです。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で直接的な観光誘客が厳しい状況のなか、人との接触を伴わない非接触型函館観光プロモーションとして函館の魅力をSNSを中心に発信してきました。二次元アイドルグループ「HAK OMEEN(ハコメン)」については、1周年を迎えた10月14日に2曲目のミュージックビデオを公開いたしました。全国的に観光需要が回復してきた今、「全国旅行支援」や「はこだて割」を利用し、少しでも多くの人に函館に来てほしいという思いを込めた楽曲となっており、公式YouTube

チャンネルでは49万回再生を超えるなど、幅広い世代に「函館」の魅力を発信しています。

## ○HAKOMEN情報

これらに加え、この冬は光のイベントも目白押しとなっております。

## ○はこだてイルミネーション

八幡坂や二十間坂、基坂、開港通りが鮮やかに彩られます。

- ・点灯期間：12月1日(木)～2月28日(火) 日没～午後10時
- 函館駅前広場イルミネーション

全長80mの巨大な光のパサージュや浮かぶいさり火が幻想的な光の空間を演出します。

・点灯期間：12月1日(木)～2

## 【WEB サイト】



## 【Instagram】



## 【YouTube チャンネル】



## 【Twitter】







駅前イルミネーション



HAKOMEN【HAKODATEに KOI】



はこだてルミポップ

月28日(火) 日没〜午後10時  
 ○湯の川冬の灯り  
 組子灯籠や竹格子イルミネーションをメインに、温泉街らしい和の灯りを演出します。  
 ・点灯期間：12月1日(休)〜2月28日(火) 日没〜午後10時

○五稜星の夢(ほしのゆめ)  
 約2千個のイルミネーションで五稜郭の星形が美しく輝きます。  
 ・点灯期間：12月1日(休)〜2月28日(火) 日没〜午後7時  
 ○HAKODATE LUMIPOP  
 OP (はこだてルミポップ)  
 よりカラフルに、よりポップに進化したイルミネーションが大門エリアを色鮮やかに彩ります。  
 ・点灯期間：12月1日(休)〜2月28日(火) 日没〜午後10時  
 ○はこだてひかりのガーデン  
 市内随一の眺望を誇る元町公園で、幻想的な光の演出を楽しめます。  
 ・期間：2月の金・土・祝前日 午後5時〜午後8時30分

○キャンペーン内容  
 ・コラボポスターの掲出  
 ・イラストコンテストと展示イベントの開催  
 ・フォトスポットパネルの設置  
 ・デジタルチェックインラリーの開催



はこだてひかりのガーデン

イベントの詳細は、はこだてイベントガイド (<https://event.hakobura.jp/>) で確認いただけます。  
 また、昨年12月からは弘前市および函館市への相互誘客や周遊観光の促進を図るため、世界的人気を誇るバーチャル・シンガー「初音ミク」の派生キャラクターであり北海道応援キャラクターの「雪ミク」と連携し、市内の光のイベント等とコラボレーションした冬期観光キャンペーンを両市で展開しております。

イメージソング、歓迎アナウンスの放送  
 ・スマホを活用したARキャラクターとの写真撮影  
 キャンペーンの詳細は、ひろはこ冬の観光キャンペーン特設ページ (<https://www.hirosaki-kanko.or.jp/edit.html?id=hirohako>) で確認いただけます。  
 このほかに、「北海道・東北の縄文遺跡群」の構成資産として世界文化遺産登録から1周年を迎えた、当市の「史跡大船遺跡」では、採集・漁猟・狩猟により定住し、1万年以上にわたって持続可能な社会を実現した人々の生活と精神文化を伝えるため、積極的なPRに努めるとともに、従来ある説明板やスタンプによる解説に加えて、スマートフォンやタブレット端末を使用し、拡張現実(AR)や仮想現実(VR)で当時の暮らしなどの情報を視覚的に体験できるデジタルコンテンツや、広域



ひろはこ冬の観光キャンペーンポスター

周遊ドライブルートやWEBコンテンツとして公開するなど、より楽しく効率的に観光客が周遊していただける取り組みを続けてまいります。  
 海外旅行者については、コロナ禍以前の約55万人からほとんどゼロにまで落ち込みましたが、国際クルーズ船の受け入れ再開が国から発表されたこと、昨年9月には外国船の入港に伴うCIQ(税関・入国審査・検疫)の手続きが可能になった「函館クルーズターミナル」も完成したこと、今後の函館港への寄港が大いに期待されるほか、コロナ禍前は訪函外国人の半数以上を占めていた台湾をターゲットとして、同11月には台北―函館をつなぐ国際空港路線の就航再開に向けてトップセールスを行うな



湯の川の冬の灯り

ど、外国人観光客の回復に取り組み、国内需要喚起策等の推進とともに、函館観光の復活を目指します。

観光と並ぶ主要産業の水産業においては、気候変動に伴う海洋環境の変化等により、記録的な不漁となっている小型イカ釣り漁業者への燃料費支援や漁獲量が増加しているブリやサバなどへの魚種転換に取り組み水産加工業者への支援を継続するほか、キングサーモンやコンブの完全養殖など、つくり育てる漁業にも取り組み、漁業経営の安定化を図ります。

また、地域経済の活性化には、企業の生産性向上によるコスト削減や競争力の向上による賃金の引き上げ、労働環境の改善なども必要であり、

引き続き、地元企業におけるIT活用やDX（デジタルトランスフォーメーション）導入の支援等を進めます。

このほか、コロナ禍により、首都圏などではテレワークが新たな働き方として受け入れられているなか、当市は、自然豊かで、子育て環境や医療体制が充実し、新幹線や航空機など交通の利便性に優れていることに加え、西部地区の歴史的町並みと美しい景観などの魅力を生かしながら、テレワークを活用したワークেশションやサテライトオフィス設置の支援を進め、企業誘致や定住人口の拡大に繋げていくなど、社会経済情勢の変化を捉えながら、引き続き様々な施策を展開してまいります。

函館の魅力の一つである「食」においては、4年ぶりの実施となるグルメイベント「はこだてFOOD（フードフェスタ）」を2月25日、26日に函館アリーナ・メインアリーナで開催いたします。会場内には料理教室や調理実演など

に使用できるキッチンスタジオや、海鮮丼や塩ラーメン、ご当地カレーなど道南のグルメを体系的に紹介するテーマブース、函館の学生が考案したメニューが並ぶ限定販売ブースなど、食べ歩きや食べ比べが楽しめる多彩なコンテンツを用意し、道南の食の魅力をも幅広く楽しんでもらうとまいります。

「市民一人ひとりの幸せづくり」をテーマとして進めている政策としては、少子化が進むなか、子育て世代の出産や育児に関わる不安を取り除くとともに、子どもたちの健全な成長を支えるため、中学生までの医療費無料化や学童保育料の軽減拡大など経済的支援の強化や、相談支援体制の充実などに取り組んでいるほか、小・中学生の情報活用能力を育むICT教育を進めるなど教育環境の充実に努めています。

また、市民の健康の維持・増進のためには、一人ひとりの健康意識を高めていくことが大切です。これまで、病気の

はこだて健幸アプリ



はこだて健幸アプリ【hakobit】



はこだて健幸アプリ【hakobit】\_QR

の早期発見・治療につながるよう、がん検診の受診勧奨等の取り組みを進めてきましたが、昨年は、気軽に楽しみながら健康づくりをはじめられる「はこだて健幸アプリ」を6月に導入したほか、10月には、大規模健康イベント「ウエルネスFesはこだて」を開催し、世代を問わず大勢の方々にご参加いただき、健康への理解を深めていただいたところでした。

そのほか、昨年4月から、地域包括支援センターの機能を拡充した、高齢者に限らない多世代型の総合相談窓口である「福祉拠点」を市内10ヶ所に開設したところであり、また、パートナーシップ宣誓制度の導入により、性の多様性への理解が促進され、誰もが自分らしく誇りを持って暮

らせるまちとなることを目指しています。

今後におきましても、年齢、性別、障がいの有無などに問わず、市民一人ひとりが互いに尊重し合いながら、個性や能力を発揮し、幸せを実感できる、すべての人にとってやさしいまちとなるよう、各種施策に取り組んでまいります。

昨年、函館市は市制施行100周年という大きな節目の年を迎えました。先人たちが、たゆまぬ努力と情熱でこれらの苦難を乗り越え、函館のまちをかたちづくってきたように、長期化しているコロナとの闘いも、市民の皆様と力をあわせて乗り越え、活気に満ちたまち、訪れたいくなる美しいまち、住む人にやさしいまちとなるよう、函館のまちづくりを加速させてまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びにあたり、北海道南会の方らなるご隆盛と会員の皆様のおますますのご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。



# 函館人物誌 番外編 函館のマッチ文化―玉林治右衛門の生き方

道南会会員 沢株 正始

幸小出身

煙害だとか副流煙だとか、タバコ愛好家には実に厳しい時代になりましたが、もしもタバコがこの世になかったなら、歌謡曲の世界もいまいちわびしく、味気ないものになったかもしれません。

懐かしの歌手・霧島昇の名曲に「胸の振り」があります。

「柳につばめは あなたにわたし」で始まるムード歌謡の二番は「煙草のけむりも もつれるおもい／胸の振子がつぶやく やさしきその名」。

あるいは中条清の「嘘」  
「折れた煙草の吸いがらで／あなたの嘘がわかるのよ」  
タバコがでてくる歌はじつに沢山あります。

(5) 戦後のドサクサから経済が上向きだす頃まで、日本の町も村も、劇場も遊技場

も、夜の町でも、国中どこでもタバコの煙が立ち込めていたように思います。がんだとか副流煙だとか、うるさく言われる前でした。パチンコ屋や喫茶店では、もうもうたる煙はあたりまえ。商売繁盛が第一。

かつての函館には喫茶店がたくさんありました。松風町、大門、とくに高砂町の富士館通りなどにはユニークな店が多く、学生時代には啞えタバコでコーヒーを何軒も梯子をしたものです。そんなお客のために店はそれぞれユニークなデザインのマッチ箱を用意しており、それを集めるのも洒落た趣味の一つでした。切手や古銭などとならんで、マッチラベルの収集家も全国的にも多いどころか、世界的な広がりがあり、カタログや解説書なども多数作

られています。

収集癖のある私はずいぶん持っていたはずですが、今調べたら、残っているのは「ソーダファンテン カメイ」と「山小屋」の二つだけ。ご存知のとおり前者はかつての棒ニデパートの前、後者は青柳町、函館山の登り口にあった店です。色は褪せていても、懐かしさがにじみます(図)。どちらの店も今はもうありません。

さて、このマッチを日本で最初に作ったのは四国・高松(香川)藩士の久米通賢といわれています。久米は発明家であり、軍艦の設



計や塩田開発にも功がありました。しかしこれは藩主からの命で実験的に作ったもののように、本格的に製造したのは加賀藩士の子・清水誠です。当時の日本ではマッチですら輸入ものしかなかったため、スエーデンに渡って本格的に製造技術を学び、量産化に成功しました。その努力で、まもなく日本はスエーデン・アメリカと並び世界三大マッチ製造国になりました。

その後、1960年代に製造は機械化されるものの、ライターに押されてマッチは減少の一途をたどることになります。

さてこの小さなマッチを北海道で最初に作った人物が函館にいました。その名を玉林治右衛門といいます。伊予(愛媛)藩士を父に持ち、16歳のときに江戸に出て、杉田玄白に蘭学を、その後、長崎で村田蔵六に砲術を学び、さらに箱館奉行諸術調所教授・武田斐三郎の噂を聞いて箱館に渡ります。しかしその後の運命は

いささか不連続き。明治維新後に西浜町で店舗を構えるものの、明治5年に外国人との商取引で失敗し身を隠す始末。しかし翌年に捕らえられ、持船を売却しても償うことができないまま、準窃盗という罪状で10年の刑に処せられます。

獄中、玉林は自ら教養の無さゆえに罪科をつくってしまったと気づいて迷夢から覚め、苦役勉勵、模範囚として、囚人の取り締まり役にまでなりました。そして獄中規則にある工芸に努めて恩返ししようと囚人を誘い、当時外国まかせだったマッチ製造を獄内で行って輸入を極力減らそうと、場内の廃屋で作業を始めます。

度重なる失敗のすえ、開拓使の物産係・石橋俊勝からあらためて舎密学(化学)を学んで試行錯誤を重ねた結果、明治10年に作品を東京の新燧社に送って優良の評価を受けるに至りました。新燧社は上記した清水誠が作った当時日本で一番の

新燧社は上記した清水誠が作った当時日本で一番の



マツチ製造会社です。

この成功をもとに開拓使は明治12年、音羽町に新しい製造所を作り、海外に製品を出すまでになりました。玉林はこの功によって特典をもって放免となり、昨日まで囚人であった身が開拓使民事課お雇いとして月俸30円を給せられ、以降の作業指導を任せられることになりました。

この話は明治13年10月9日から『函館新聞』に連載されたとのことですが、今のところ原新聞を確認できずありません。話の出どころは『函館函創立60年記念 岡田健蔵先生論集』（昭和44年刊）中の、一文「北海道最初のマツチ製造者、玉



岡田健蔵

林治右衛門の事績を偲びて 時人の反省を促す」に よりました。

岡田健蔵はいずれ人物誌のテーマとして取り上げたいと思っておりますが、函館市立図書館（現函館中央図書館）の初代館長となった人です。私財を投じて郷土資料の収集に努め、図書館建設に尽くすなど函館の文化発展に大きな功績を残しました。

その岡田が同書で強く訴えていたのは、函館市ができるだけ早く科学図書館を起こして物理化学の資料を備え、町の科学者を指導啓発して科学思想を啓発し日本の文化発展に貢献すべきだということですが、昭和10年代にすでにこのような先駆的主張をしていたとは驚きです。

## はこだて観光大使の死を悼んで

道南会顧問 松田 昇

湯川小出身

はこだて観光大使で東京在住の中井憲治さんが本年（2022年）7月、函館で急逝された。惜しい人を失った喪失感は強く、何とも残念の極みである。

中井さんとのご縁は、今からおよそ35年前（昭和から平成へ移る頃）、東京地検特捜部で一緒に仕事をした頃からであった。当時私が同部長で、中井さんは重大汚職事件の公判専従の一人であった。中井さんは持ち前の明るくて人懐こい人柄に加え筋を通す一本気や俊敏な行動力を併せ持つ優れた検事であった。公私ともに支えていただいた。

したことなどは、今でも2人の秘密であり忘れ難い。

その後、中井さんは期待に違わず、法務・検察の要職を歴任され、2006（平成18）年に検事を退官された。その後公証人等を経て弁護士とられた。その間、中井さんが私も経験した東京地検特捜部長や法務省矯正局長に就任したことや、私の知り合いで尊敬している田辺克彦先生の事務所へ弁護士として入所されたことも、私なりにご縁を感じていた。

ところで、中井さんの人間力の強さの一つは、武道（居合7段、剣道6段）に対するひたむきな姿勢にあった。知り合ってから最近まで、色々な機会であつた。色々な機会であつた。決まって「剣道続けていますよ、居合も奥深いですよ。警視庁の道場で稽古をして

います。」等と本当に嬉しそうに話してくれるのが常であつた。

そのうち、中井さんは1999（平成11）年に函館地検検事正として函館に着任された頃から、「函館はいいところですね。官舎近くの函館八幡宮の道場（神威館）に顔を出して稽古していますよ。また、稽古に来る子供達も可愛くてね。」等と語ってくれるようになった。函館離任後もいろいろな任地を廻りながら、時々ま会おうと「また函館へ行ってきました。八幡宮での稽古も続けています。あともう一段上上がるのが難しい。八幡宮の人達は私が行くと『お帰りなさい』と言ってくれるんです。第二の故郷ですね。また行きます。」等と話してくれていた。

函館出身の私としては、その言葉を聞きながら、中井さんが八幡宮の道場で良き師や仲間と出会い、また函館の風光や人情等が中井さんの琴線に響き、当地に





函館八幡宮

格別の親しみと深い愛着を持っていただいたことを感謝し、何とも嬉しい限りであった。

そして、退官した2006(平成18)年に、中井さんは函館市から『はこだて観光大使』の委嘱を受けたのである。私はそれ以前から同大使を引き受けていたので、中井さんこそ同大使に相応しいと思ひ、声をかけさせてもらった。そして、中井さんは、引き

続き折りを見ても東京等から函館へ出かけて、道場を中心に錬成に励む一方、少年剣士の育成や触れ合いを楽しみ、また地元の人達に溶け込んで敬愛され、更には函館の良さを外部に伝える等、身をもって観光大使の役割を立派に果たしていただいた。

そして、これもご縁だが、その後偶然にも中井さんが通われた道場の師範が私のよく知る加茂国興先生であることが分かり、加茂先生からも年賀状等で「中井さんが昨年2回来られました」とか「八幡宮のお祭りで中井さんも神輿の行列に参加してもらっています。」等の便りが届くようになった。

そんな中での今回の悲報であった。中井さんの訃報を知ってから、加茂先生にお尋ねし、改めて今年7月の

不幸が中井さんが函館へ来られて道場に立ち寄られた際に突然起きたこと、コロナ禍もあって地元の中井さんを敬愛する方々がお世話して現地で葬儀等を終えたことを知った。函館の人たちの暖かさと共に淋しさが身にしみた。そして中井さんが函館の地で生涯の幕を降ろされたことについては、

色々な思いが募った。ただその中で確実なことは、函館の人達がこの地をこよなく愛した真のはこだて観光大使を一人この地で失ったという事実であろう。

「函館は夏も暑い、冬もいいですね。」と笑顔で語りかける顔が目につかぶ。改めて深い敬意と感謝を込めて、心よりご冥福をお祈りしたい。  
(本文は、中井憲治氏を偲ぶ会の資料としてしたためた追悼文です。道南会のかたがたにも函館をこよなく愛した一人のはこだて観光大使のことを知っていただきたいと思ひ、一部補正の上、寄稿したものです)

## 新年あけましておめでとうございます

山本真里子	森本貞子	葉袋泰	本間和吉	檜森兄元	沼崎茂子	鳥本玲子	千歳芳充	菅原大作	白川正広	澤井隆	酒井哲美	小林智恵子	川瀬俊吉	笠川豊彦	泉龍夫	朝倉敏夫
和田史郎	山田トミ子	南谷光一	松田州平	福地史人	野口晴雄	新山春一	続薫	須藤珠実	新谷義克	沢株尚子	佐々木俊克	小山和彦	川守田礼子	笠川雅彦	今井雅子	浅野允佑
	山本明博	三村寿雄	松田昇	古井勝春	比嘉裕子	沼崎貞良	富岡信夫	高橋厚子	末永昌子	沢株正始	佐藤弘欣	郷内繁	木村征	金子忠雄	岡本信三	石戸六男

## 秦お春さんと、令息清三郎 東京医大教授、そして令孫・邦子嬢

ノンフィクション作家 森本 貞子

弥生小出身

秦お春さんは島崎藤村の最初の妻、冬夫人の直ぐ上の姉で秦慶治、ふさ夫妻の次女である。明治28年、秦家は函館の製網問屋でお春に養子の静八との縁を勧め、独立経営させたのである。

幸いに明治37・38年の日露戦争に勝利した日本は北のカムチャッカ半島周辺の世界三大漁場地と称される海域を傘下に治め、日露漁業は隆盛を極めた。それだけに噴火湾周域を漁場としていた秦静も問屋も商域を広げて経営を拡大する。

お春はことにたつぷりした体軀、豪快な性格で製網問屋内儀として適役であった。

豪快な性格のお春は、秦製網問屋の忘年会を男たちが芸妓を呼んでの大宴会を開催するなら、女だってやろうじゃないか、と湯の川

温泉旅館に一席設けて数人の芸妓を呼び、姉のお浅、妹の千代、勝を始め、船問屋の内儀の私の祖母など、浜筋問屋の内儀連中を大勢呼び集めて、飲めや歌えの大宴会を開催。祖母も「何と楽しかったことよ」と参加の内儀連中々々大正中頃のことで、函館中の大評判となった。

お春は、男七、女四の11人の子福者で、三女のおきみは昭和初期私の母の兄川口善治に嫁いでいたので私には伯母に当たる。その頃お春の長女京子は軍人に嫁いだものの性格が合わず若い青年と情死し、四人の娘のうち三人は他界していたのでおきみ伯母はお春にとってただひとりの娘。それに私は毎年の夏休みを函館の祖父母の許で過ごしたので祖父母と同居の伯父、

ことに伯母おきみには世話になっていただけに親しく、当然度々娘の許へと訪れる秦お春とも親しくなったのであった。まして私の海曹問屋の祖母とも仲良しでお春のご子息秦清三郎氏は東大医学部卒の秀才。当時は東京大塚の癌研究所附属病院の産婦人科医長で病院の近くに住居があった。それだけに五十歳台で家作を長男の清一に譲ったお春は度々上京するようになった。

なお私の祖母も娘で私の母おみつの夫、つまり私の父は明大教授で東京下谷の住まい。孫娘の私にも会った。上京するチャンスが多め、秦お春とは東京でも訪れ会うことになるのである。

私の祖母はいつも孫の私を連れ歩き、私は祖母の腰巾着だといわれていた。

大正14年のこと、私が9月に生まれた後の12月、父は明治大学より命ぜられて英国留学へと旅立った。母と私は母の実家、青柳町の家で暮らすこととなった。満4歳の頃、芸事好きの祖

母は、私に元芸妓で若柳流の師匠について日本舞踊を習うことを勧めた。初対面のことである。師匠は「あくら、おていちゃん、色、黒いねえ」と。祖母は「父親似ですよ。この子の母は色、白いのに」と語るように。静かな住宅街で、しかも省線（現・国電）の鶯谷駅は山の手桜木町のある高台の真下。その高台の上に日本舞踊・花柳輔秀師が稽古所を開いていた。祖母に「続けて習ったら」と勧められて週2回通うこととなった。

「梅にも春」、「羽根の禿」、「越後獅子」などを習い、それなりに楽しむ時間であった。輔秀師は大塚の花街にも出向き、日本舞踊指導を教示し、その門下生に、当時、奇術の女王と称せられた末旭斉天勝がいた。

昭和12年の秋、花柳輔秀門下生一門の開場五年記念会が「日本橋三越本店劇場」で開催されることとなった。12歳の私は「潮汲」と「浅妻船」を舞うこととなる。祖母は大喜びで、ご子息、

清三郎邸に滞在しておられた秦お春さんに招待状を出した。すると「丁度東京にいる孫の邦子と一緒に出席」とのお返事。邦子嬢はお春の長男清一氏とおしげさん夫妻の長女で、絶世の美女。スタイルも素晴らしく、当時、東京の洋舞家、石井漠について習い、西武デパート洋装部では、洋裁が得意であったのでデザインをつとめていた。彼女の美しさは抜群で、当時有名な小説、石坂洋次郎作「青い山脈」のヒロインは邦子嬢をモデルにしたのだ、このうわさ。

本番舞台近い日、桜木町の花柳邸で本番さながらの「総ざらい」が大塚の門下生とともに行われ、天勝ももちろん参加、私の舞い姿を、その時天勝は「筋が良い舞い姿よ」と誉めてくださった。その話しぶりの時、何と天勝の前歯は金歯ならぬ、ダイヤモンドが埋められていたのだ。キラリ！と光る口元に私はびっくりしてしまった。





美人描いの妻家の娘たち。(上段左から)長女浅、次女春、隣りは著者の伯母きみ(中段左から)四女滝、五女千代、六女勝(兼良平氏家)。  
 ◀藤村の姉高瀬その(中央)と。冬(27歳)、三女藤子(1歳)、次女孝子(3歳)、長女緑(5歳)、明治37年11月3日撮影(津金家蔵)。  
 ▼春の娘女子 冬と同じ33歳で病死(同上)

私春 藤子 著  
 『冬』の著者 秋利より

いよいよ本番舞台の日本橋三越劇場は満員の来客。邦子嬢は観客席中央に。日曜だったので私の父母も観客席の端に。私の舞台「潮汲み」も「浅妻船」も大拍手のもと無事に済ませ、終わりに近く天勝の「都鳥」が演じられた。なんと終わろうとする間に、大ぶりの舞扇を翻すと、本物の白い鳩が三羽飛び出して舞台上で舞ったのであった。あっ！と驚く観客一同、唾然とする。この日本舞踊を舞いながらの奇術は天勝のアメリカ興業でも大当たりだったそうである。翌日の都新聞(現・東京新聞)は、天勝の「都鳥」の舞い姿を掲載し、奇術の素晴らしさをも報じたのであった。

翌昭和13年、私は府立第一高女の入学試験を控えて、日本舞踊はお休みとなった。入学できてからも女学校三年になって再び稽古を始めたものの二年で結婚することになった。様々な事情があつて女学校卒業後ほどなく結婚。相手は函館出身で東大地質学科助手の森本良平。森本家の家業の森本雑穀問屋は昭和初期の経済恐慌で破産し、良平はその後に父が急死したことで大学入学を断念し

ていたところ、銀行家の伯父のお陰で東大を卒業し、東大地質学教室の助手として学問に情熱的な学者であった。私は父と同様の大学関係者であることで彼との結婚を承知したのだった。実はその頃母の実家、川口海曹問屋も破産の憂き目に遭っていたのである。

秦邦子嬢は私より5歳上で私の結婚後、数年経って男爵芋で有名な菌田男爵の御曹司と結婚。5人の子宝に恵まれ、函館郊外の七重牧場でお幸せなお暮らしと思っていたところ、何と離婚。夫の女性関係が理由からだった。その後、西武デパートのデザイナーの若い青年と結ばれ、「函館公園裏の喫茶店「山小屋」を経営し、洋裁店も開業なさっておられた。お幸せな生活を、と願っていた。

昭和18年、18歳で結婚した私は千葉県市川市住まい。昭和19年のことだった。夫の森本へ、担任の教授より朝鮮(現・韓国)の京城大学へ助教として赴任しな

いかとの問い合わせだった。夫は考えに考えた末、日本の万事の雰囲気不安だから、と断つたのである。

ところがその頃、秦清三郎氏も京城大学教授として着任なさった。秦家の出世頭だっただけに秦お春さんも大喜びで京城へと旅立って行かれた。実はお春さんはその後程なく心臓麻痺で急逝。昭和20年、終戦。その直前の混乱の京城から、清三郎氏は梅子夫人、令嬢まり子さん、令息洋一さんと、大慌てに慌てての帰国。母親の遺骨を持ち帰ることもできず、そのまま京城の墓地に埋葬のままのことであつた。

清三郎氏は帰国後、直ちに東京医大産婦人科教授として迎えられる、新宿の大病院であつた。

それから数年後、清三郎氏も心臓麻痺での急逝であつた。

多くの読者の中に夫森本の友人で八高時代の同級生、長畑弁護士がおられた。長畑弁護士は「冬の家」を二冊携えて私の家へ来訪された。

「実は私(長畑氏)が顧問をしている会社の社員の中に、秦清三郎氏の令息洋一氏がいらっしゃるのですよ。彼に『冬の家』をプレゼントしたいと思い、『署名』していただきたいのです」とのこと、一冊はご自分用とのこと。私は驚きつつ、そのご縁に感謝したのであつた。やがて数日後、秦洋一氏より、ご丁寧な手紙で「秦家の祖先の人たちのことがよく分かり、感謝しつつ拝読致しました。厚く御礼申し上げます」とのこと、私こそ感謝、感激であつた。

私は祖母を始め、秦ご一家懐かしく思い浮かべ、胸に溢れる感慨にふけたのであつた。

## 腰痛と膝痛

新谷 義克  
函館師範(現・函館教育大付属)小出身

我々人間は、生物学的には脊椎動物(門)哺乳類(綱)霊長類(目)人類に属します。約45億年前に、ビッグバンという宇宙現象で我々が住んでいる地球が誕生し、その後10数億年経って35億年前に、アメーバーや細菌(単細胞生物)(無性生殖)のよ

うな生き物が地球に初めて出現しました(生命の起源)。やがて数億年後には、現在生物界の主流となつている有性生殖を行う有性生物が現れます。そして5億年前には、我々脊椎動物の一番の祖先である魚が生まれました。その後水中での生活から陸上での生活に挑戦した祖先が出てきました。

両棲類の誕生です。始め卵の時は水中で生活し、成長すると陸上での生活です(蛙等)。次には完全に水中生活に見切りをつけて陸上生活

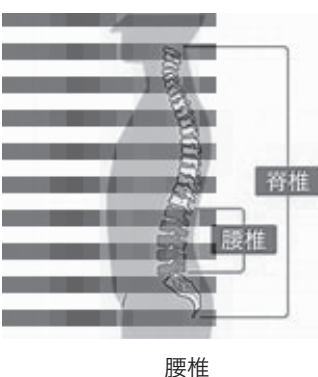
をした脊椎動物が出現します。爬虫類・鳥類・哺乳類です。

そして霊長類・人類へと進化してきました。個体発生は、系統発生を繰り返すと言われますが、我々人類は、お母さんの体内にいるときは羊水という水の中で生活し、誕生によって肺呼吸をするという、脊椎動物として水中生活(魚)から陸上での肺呼吸をする哺乳類を経て人類に至つた、数億年の進化の歴史を十月十日で再現しているのです。

それはともかく、脊椎動物として最初の魚と現在の人類と大きな違いは、水中から陸上生活となつたことと、横の生活から縦の生活(二足歩行)になつたことです。魚は水中では横になっている状態で脊椎には負担

はかかりませんし、四足歩行の動物は、四本足と脊椎で内臓を支え脊椎には縦の加重はありません。移動するときも横のままですが、人類は寝るとき以外は脊椎は縦になつた状態で、重い頭や内臓が縦方向で脊柱と二本の下肢に加重されます。

約三百万年前、アウストラロピテクス(猿人)の四足歩行から百万年前のホモ・エレクトス(直立原人)の出現で完全に二足歩行になつて以来、人類の宿命として脊椎(特に腰椎)と両下肢(特に膝関節)にそれまでなかった負担がかかってきました。最初に魚を作つた神様は、まさか魚が進化した縦になつて二足歩行するとは考えなかつたと思



腰椎

ます。ですから、もともと現在の脊椎動物の骨格構造は横になつている前提で形成されていきますので、進化して二足歩行になり脊椎が縦になつた現在では、想定外の負担が腰と膝にかかっているのが現状です。

進化して二足歩行した我々脊椎動物としての人類の骨格構造はいわゆる最近話題になつている欠陥構造なのです。また四足姿勢から二足直立姿勢で90度上体を起こしたため、重い頭や内臓を下から受けるようになったため、また跳んだり跳ねたりする際、足からの衝撃を柔らかくするためその力学的負担に順応して脊椎は胸部で後弯、腰部で前弯となり、その結果、産道も曲がりくねつてしまい、人類独特の頭の大きさと重なり、脊椎動物のなかでは唯一の難産する哺乳類になりました(犬は安産のシンボルです)。また、疲れると腰を下ろしたり横になつたりするのは、立ったまま休

息をとったり、寝たりする、鶴や馬の生物としての完成度に比べれば、人類の骨格構造はまだ未完成なのです。

以上のようないろいろな不利益がある反面、人類は二足歩行したことによって、現在地球上の全生物の頂点に位置し、それらの不利益とは比べものにならないメリットを獲得しました。ホモ・エレクトス(直立原人)(ジャワ原人・北京原人等)が出現してまだ百万年。脊椎動物の五億年の歴史から見れば五百分の一年に過ぎません。生物の進化の過程で諸環境に適応して、生物自体の構造を自ら改善する能力(改善進化)がありますので、一千万年位後には、現在の脊椎を含めた骨格構造が変化(進化)し、腰痛や膝痛が起きないような時代が来ると想像されますが、現在生きている我々にはとても間に合いませんので、取りあえず人間の宿命と諦めて腰と膝とはだましましたまし一生涯付き合っていくしかないようです。



### 島田瑞子さんを偲んで

島田瑞子さんが、6月22日死去されました。島田瑞子さんは、道南会の副会長として、新年総会・懇親会や夏季懇親会の司会を担当され、長年会の運営にご尽力されました。

彼女を良く知る皆様方から寄せられた追悼文と思い出の写真の数々をここにご紹介します。

#### 島田瑞子さんの思い出

道南会相談役 沼崎 貞良  
函館師範(現・函館教育大付属) 小出身

私が道南会に入会したのは昭和60年(1985年)と記憶していますが、島田さんは当時既に幹事として活発にご活動されておりました。その後私も幹事を仰せつかり、一緒に世話をさせて頂いたばかりですが、とにかく彼女は函館大好き、道南会大好き、

ということが言葉の端々に伝わってきました。そんなことで私は島田さんを「はこだて観光大使」に推薦したことを思い出します。

島田さんは、道南会副会長として多大なご尽力をされ、総会等の司会、また月例行事へも率先して参加され会を盛り上げて下さいました。

特に忘れられないのは、2004年バルト三国、サンクトペテルブルグ、ブルガリア12日間を道南会会員25名で

旅行したことです。本当に楽しい思い出に残る海外旅行でした。写真も沢山頂きました。

島田さんと最後にお会いしたのは2020年2月29日でした。コロナが流行り始めた頃です。戸田中央総合病院(当会顧問・中村隆俊氏会長)の新棟の内覧会にご招待頂き、素晴らしい設備、最新鋭の機器を見学。その後近所のレストランでランチを共にしました。

筆者、島田瑞子さん、葉袋会長



葉袋会長、川守田礼子さん、檜森さんと小生の5名でした。一時間半位何となく世間話をしたように記憶していません。今思うとあれが最後になろうとは無念でなりません。

今頃、島田さんは先に天国に逝かれた田沼さん、川守田さん、相馬さん、早坂さん等と函館のこと、道南会のことを語り合っていることでしょう。

島田さん本当に残念です。もつともつとお話ししたかった。今は唯々ご冥福をお祈りするのみです。私共夫婦も楽しくお付き合い頂きありがとうございました。島田さんごゆっくりとお休み下さい。

合掌

島田瑞子さんにレクイエムを

道南会常任理事 富岡 信夫

弥生小出身

「富岡さん！小野リサって知ってる？」

『あなたの忘れ物』って曲、大好きなの……」

携帯の先は島田さんでした。



小野リサ

た。NHKラジオ深夜便で聴いてファンになり、この音楽を手に入れるには？買えるものなのか？の連絡でした。

本屋さんで「CD付きNHKラジオ深夜便」を見つけ、伝えますと、それはそれはとても喜んでいました。その思い出が一瞬に蘇りました。

それは8年前のことでした。島田さんが愛した歌「あなたの忘れ物」を、それから何回も、何回も聴きました。この歌は、亡くした夫に、奥さんの思いを表現しています。ある意味、奥さんから夫へのレクイエム

とも解釈出来ます。実際は島田さんの旦那様は生存しています。



函館遺愛女子高等学校

ここで、島田さんが愛した歌「あなたの忘れ物」の歌詞を抜粋して紹介します。youtubeで見れます。

あなたの忘れ物

作詞・曲 沖正夫

あなたの残した忘れ物  
今でも

大事にしまつてあるわ  
わたしの胸に残る思い出

あなたと過ごした  
月日もみんな

大事に大事に  
しまつてあるわ

もうこれ以上  
愛せないくらい

あなたを愛し愛されたから  
もう何も欲しいものはない

あなたが全てだから

中略

素敵なラブソングであり  
ますが：

しかし、この歌から、勝手な推測と想像に行きつき  
ました。タイトルを「あなた」と「私」に置き換えて  
みました。島田さんにはと  
ても失礼な想像で申し訳あ  
りませんが、もしかした  
ら、自分の中の異変に、戸

惑いはじめていたのではな  
いかと・・そのようなこと  
を感じてしまいました。も  
う一つ、島田さんの「忘れ  
物」を発見しました。『道南  
会副会長』『遺愛女子校同窓  
会東京支部代表』『東川小学  
校同窓会会長』と、函館は

島田さんの活動にいつも寄  
り添っています。恋人のよ  
うに。心から函館を愛し、  
函館の思い出を大切に  
来た人生だったのでない  
でしょうか？とも感じました。

島田さんへ哀悼の気持ちを  
込めてレクイエムを作りま  
した。

あなたは故郷へ

作詞・曲 富岡信夫

帰ろう 北国の  
函館の町に

父もいる  
母もいる

あなたは あなたは故郷へ  
帰ろう 北国の  
函館の町に

兄もいる  
姉もいる

あなたは あなたは故郷へ

あなたは あなたは故郷へ

あなたは あなたは故郷へ

あなたは あなたは故郷へ

あなたは あなたは故郷へ

あなたは あなたは故郷へ

春の五稜郭 桜まつり  
夏は花火 港まつり  
紅葉(秋)に映える 遺愛の  
制服  
雪の恋人になったの？  
あなたは：

帰ろう 北国の  
函館の町に

思い出が  
いっぱい  
あなたは あなたは故郷へ

島田瑞子さんは、2022  
年6月22日に亡くなりまし  
た。いつも暖かく接してい  
ただきました。感謝で一杯  
です。

ありがとうございます。

いつか：いつか：  
函館で逢えたら：

合掌

島田瑞子さんを偲んで

道南会顧問 松田 昇  
湯川小出身

島田瑞子さんが本年6月  
に逝去されたと聞いた。私  
にとつては、突然のことで

信じ難い思いである。心よ  
り哀悼の意を表したい。

島田さんは、私にとって  
道南会の言わばアイドル的  
存在であった。常にどんな  
行事の折りも、裏方の細か  
いことをこなしながら、何  
時も笑顔で総会の司会など  
の大役をこなしておられた。  
島田さんの元気な姿を会場  
で見つけるとホットしたも  
のである。「青春時代」なら  
ぬ「函館時代」を一緒に歌つ  
たのも楽しい思い出となつ  
た。顧問会でも大変お世話  
になった。どこかに遺愛女  
子高の良き雰囲気をつつと  
持つておられた素敵な女性  
であった。その人を道南会  
が失うことは誠に淋しく残  
念である。改めてこれまで  
道南会の副会長として同会

信じていたこと  
深く感謝したい。

島田さん、長い間本当に  
ありがとうございました。  
どうぞ安らかに眠りくだ  
さい。

島田瑞子さんとのこと



齋藤 善子  
青柳小出身

私が島田瑞子さんと初め  
てお会いしたのは、今から  
20年近くも前。私の幼なじ  
みで函館遺愛高校出身の女  
流画家・鈴木邦江さんの個  
展が表参道で開催された時  
の会場でした。





鈴木邦江さんは、関西で活躍していましたが、個展以来、島田さんは、関西で鈴木邦江さんに会われた時は、必ずあの優しさに満ち溢れた声で連絡下さいました。そして、その後、私が函館での遺愛の同窓生の方々の中に呼ばれたりしているうちに、私をすっかり遺愛高の卒業生と思われていたようでした。

私が島田さんに最後に連絡していただいたのは昨年の11月のことでした。その時もお変わりはありませんでした。そして、コロナ禍になる前に岐阜の山本久子様施設の夏祭りの見学にもご一緒させていただきました。

島田さんとはたくさんのお出掛けがありすぎて、一口には言い表すことができません。今は、悲しみに堪えて、あの明るさと素晴らしい行動力、何よりも道南会での懇親会の時の心温まる司会、大切な人生の先輩を失くした思いです。ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

### 故島田瑞子さんへの追悼記

酒井 哲美

北海道道南会副会長の島田瑞子様のご訃報に接し、謹んで哀悼の誠を捧げ、心からご冥福をお祈り申し上げます。次第でございます。

島田さんとの出会いは、20年前の2002年、私が東京勤務となり、初めて北海道道南会夏季懇親会に出席した時でした。当時から司会進行で活躍されておられました島田さんから、「後ほど紹介のご案内を致

しますので、道南会への初出席のご挨拶と函館市内の近況をご来場の皆様にお話し下さい。よろしくお願ひします。」という言葉を掛けて頂き、大変ご丁寧にお優しいご案内を受けた記憶とともに当時の状況が思い出されます。

多数の会員とお客様の前でお話をしなければならぬことから、私自身、島田さんのように優しく、丁寧できれいな言葉を発声できるかなあと思いつつも、当然ながら無理なことなので、普段どおりの言葉使いで話そうと決意したことを思い出します。本番ではきつと緊張しながら話したのでしよう。挨拶を終えて壇上から自席に戻る際、司会の島田さんから「私達には大変懐かしい函館弁でのお話をして頂きたい。大変有難うございます」という激励の言葉が賜り、周りの方々からも「函館弁で分かりやすかったよ」

という励みがあり、大変なつかしく思い出します。

また、道南会に加え、函館近郊市町村のふるさと会のほか、函館市内小学校や高等学校などの東京同窓会（ふるさと会）が数多くあります。私の在京時には、島田さんが卒業された函館東川小学校の「東京東川会」も創立されました。実は、この東川会の発起人会議等の会場として私の職場事務所の一部空きスペースをご利用頂いたことがございました。発起人代表は道南会員で当時も他方面で活躍の故早坂茂三さんです。そして島田さんはじめ発起人の皆様方のご尽力で「東京東川会」の初開催・懇親会の日を迎えた訳です。

当日は私にもご参会の機会を賜り、席上、初開催のご祝辞とともに函館弁丸

出しでの函館の近況をお話しさせて頂きました。

もちろん東川会の司会進行は島田瑞子さんです。そして思い出すのは、「懐かしい函館弁での函館近況のお話でございました。大変有難うございます」という島田さんの激励の言葉があり今でも忘れずよみがえります。

そして今一つは、この東川会の初開催時に、私の高校時代Ⅱ函館西高校在学時の同級・同窓生と30数年ぶりに再会したのです。島田



後列中央が島田瑞子さん



左端が島田瑞子さん





上野動物園散策 19.11.1

さんとのご縁のお陰と感謝の意を表します

2年間の在京勤務を終え、地元函館に戻る際に、私は道南会員の方から東京に足跡を残すよう勧められ道南会員になりました。

在京時そして地元函館に戻り会員として現在に至る

までの間、新年と夏季の年2回の道南会懇親会に参加させて頂き、何時も島田さんはじめ会長・副会長・会員の皆様方には大変親しく接して頂きお世話になり誠に感謝に堪えない気持ちです。そして2020年2月の新年懇親会終了後、別会

場の直来にて、島田さん含め道南会ふるさと訪問など色々な話し合いをしてそれが最後となった訳です。

この度は東京道南会副会長の島田瑞子様への追悼の意を記すとともに、島田様とご一緒に東京道南会ご発展に意を尽くしご活躍された元会長の故田沼修二様、同じく元会長の故川守田孝平様、そして東京東川会と道南会のご発展に意を尽くされた故早坂茂三様とのことも、時を同じく自然に回想されました。

そして島田瑞子様が東京道南会の活動を通じ先達者と共に歩み、そして今はその糸の繋がりの如く先達の仲間入りをされたように想い起こされ新しく回想される訳です。

どうか何時いつまでも、東京道南会の発展と函館の事も先達の皆さんで話し合い見守って下さいますようにお願い申し上げます。

ここに謹んで哀悼の誠を捧げ、心からご冥福をお祈り申し上げます。 合掌

### 島田瑞子さんを悼む

嶋村 悦子  
八幡小出身

No.76の道南会会報にて、島田瑞子さんの訃報を知って、思わず「えっ!!」「うっそ!」、嘘でしょう?」「まさか、信じられない!」等の言葉が出てしまいました。

若々しくて澁刺として、いつも笑顔で接して下さった島田さんの姿しか私は見ていませんでしたから、道南会に参加しても逢えないと思うと悲しくてたまりませんでした。

そんな矢先に富岡信夫様が、島田さんを偲んでレクイエム(鎮魂歌)を作詞、作曲されたとの連絡があり、ラインで聞かせていただきました。それはそれは素晴らしい詩とメロディー。そして、息子さんの歌声

に感動するばかりでした。島田さんへの想いが100%こもった曲です。皆様にも是非聞いていただきたいと思えます。函館の映像のDVDも島田さんの在りし日の思い出させてくれるような素晴らしい映像です。

私はいつまでも島田さんのことを忘れません。島田さん、天国で私たちのことをあの素敵な笑顔で見守ってくださいね。合掌



顧問・相談役会



# 島田瑞子様との思い出

ノンフィクション作家

森本 貞子

道南会誌の先号を開いたとき、島田様のご他界を知って驚いてしまった。あの名司会をなさり、美しいお声と素敵な着こなしのお姿は

ご高齢とは思えぬ素晴らしさ、どうして？胸をつかれってしまった。あの時の思い出が蘇る。懐かしい思い出である。私が道南会入会以来、何かとお世話になっておりましたので、上野の国立科学博物館での私の講演会「近代地震学の父、ジョン・ミルン・トネ夫人」についての開催に是非ご招待を、と手紙でお知らせをしたのであった。

次のようなお知らせである。

「特別トークイベント開催  
日時 平成25年7月13日  
(土) 13:30~15:00  
会場 日本館1階中央ホール  
講演 地震学者ジョン・ミ



左から須藤さん、島田瑞子さん、川守田さん

ルン没後百年に寄せて  
『柴田明德東北大学名誉教授』

講演 ジョン・ミルン夫人  
トネの魅力的な生き方

『森本貞子・ノンフィクション作家、ミルンの妻トネに関する書籍の執筆者』

島田様宛の手紙には、今回の科学博物館でのミルン展は「日本地震学の基礎を作ったジョン・ミルン」と題しての開催で、ミルンは明治9年、お雇い外国人教師として英国より来日、函館に巡行の際、プラキスト

ンより紹介された願乗寺（現・西別院）の娘トネと13年に結婚、14年地震学会を東大で開催。これが世界初であったので、近代地震学の父と称されるようになったこと。珍しく函館女トネとの結婚、そして明治28年、共に英国ワイト島へ。ミルン没後、トネ夫人は函館に帰郷し、函館には二人の墓がある、ことなどを伝え。また私は二人についての著書「女の海溝 トネ・ミルンの青春」を執筆。出版した

ため、このたび博物館でのミルン夫妻の略歴展示原稿などを執筆している、等を書き添えての手紙であった。  
島田様からお電話で「7月13日は先約があつて、どうしても出席できないけど、後日必ず科学博物館へ行って拝観しますね。それにしても函館の女性トネ夫人とミルンさんが結婚したとは全く知り

ませんでした。どうしてでしょう？」とおっしゃるので、私は「第二次大戦中では英国は日本の敵国。敵国の男性と結婚したなど当時は国賊ですもの。誰も口をつぐんでトネのことは語らなかつたのよ」と私は答えたのであつた。  
それから程なく当時の天皇、皇后様（現・上皇様ご夫妻）が科学博物館「ミルン展」にご臨席なられることとなり、私は両陛下のご質問にお答えすることとなつて、そのことを島田様に電話でお伝えしたところ、島田様はその数日前にわざわざ横浜から上野の科学博物館までお出かけくださったのである。  
お手紙のお返事には「全く知らなかつた地震学会発足も、ミルンの水平振り子地震計も初めてだったし、トネ夫人との結婚も驚くばかりでした」とのご丁寧なお

手紙に私は恐縮するばかりであつた。  
それにしても講演当日はご出席は無理であつたとしても、後日ご参観くださるお心遣いに私は感激したのである亡くなられても島田様の真摯なお心が偲ばれてならない。  
心よりご冥福をお祈り申し上げ、この思い出は私の胸にいつまでもたゆたい続けることでしょう。



道南会花見 令和2年

## 令和5年度新年総会・懇親会の中止のお知らせ

令和5年1月吉日

北海道道南会の皆様へ

北海道道南会  
会長 葉袋 泰

拝 啓

令和5年の新しい年が始まりました。皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より北海道道南会の諸活動にご協力賜り、誠にありがとうございます。

さて、本年の新年総会・懇親会は、当初2月4日（土）に開催を予定しておりました。しかし、新型コロナウイルスの感染状況は一時期多少改善されつつあり、外国人観光客の入国規制条件も緩和され、また国内旅行などの制限が緩和されておりましたが、10月頃から第8波の流行が拡大傾向にあります。

そこで、大変残念ではありますが、今回も昨年に引き続き、新年総会・懇親会の開催そのものを中止することといたしましたので、お知らせいたします。

なお、今後、感染状況が改善されることがあれば、月例行事を始め、各種行事を積極的に実施したいと考えております。

時節柄お体ご自愛下さい。

敬 具

### 訃 報

大竹 各さん  
令和4年6月21日 死去  
74歳

高橋順吉さん  
令和4年7月26日 死去  
75歳

小助川昭一さん  
令和4年7月31日 死去  
95歳

山下弘治さん  
令和4年7月31日 死去  
85歳

名誉会長  
室谷邦雄さん  
令和4年10月17日 死去  
105歳



謹んでご冥福をお祈りします。

#### 会報「道南」

5年・新年号・通巻77号

発行 令和5年1月1日  
発行所 北海道道南会事務局

茨城県取手市西

1-6-C-907

印刷所 富士製版印刷(株) 葉袋 気付  
世田谷区下馬4-17-17

### 編集後記

◎新型コロナウイルスの流行は、国内では一時期減少傾向にあり、これを受けて外国人観光客の入国規制を撤廃し、また国内旅行も解禁して、旅行への補助金が出て、観光地では賑やかさを取り戻してきました。しかし、国内での新規患者数は依然として多く、感染拡大を防ぐために、所謂三密の回避を徹底する必要があります。

◎さて、6月22日に副会長の島田瑞子さんが死去されました。今号では、皆さんか寄せられた追悼文と思いの写真をまとめて載せました。在りし日の島田さんを偲んでいただけたいと思います。

◎カタールで行われていた4年に一度のサッカーW杯で、強豪国のドイツとスペインを撃破して、ベスト16まで進出しました。ひよっとすると優勝も狙えるのではないかとの期待もありましたが、次回のW杯に期待したいものです。

◎今号も、皆様からのご投稿を中心に作成しました。今後も皆様の身近な話題などを中心にお伝えしたいと思っております。引き続きご投稿をお願いいたします。